

すずらん 2階

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	8	
理念に基づく運営	1 理念の共有	1	理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者の個性に合わせて「共に生きる」の理念を作り、地域の中で自然に生活できるようにしている	0	
		2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	スタッフ会議等にて話し合い実施できるように努力している	0	
	3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	入居時には家族へ理念の説明を十分に行い、2ヶ月に1度の運営推進会議でも地域の方に理念の取り組みを説明している	0		
	2	2	地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	1	
	2 地域との支え合い	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	当社で開催する夏祭りに近所の方に声かけをしたりパンフレットを配り参加してもらってる	0	
5		地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事（ふれあいサロン、夏祭り他）にも積極的に参加している地域からもお誘いを受けるようになっている	1	場所にもよるが いつも参加する人がきまっているが これからは地域の方の迷惑にならない程度でなかなか参加できなかった入居者を参加できるように工夫していきたい	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支 地 域 合 の の	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議等にて毎回テーマを決めて情報を提供している	0	
	3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)		自己評価5項目・外部評価4項目	2	
	3 理 念 を 実 践 す る た め の 制 度 の 理 解 と 活 用	7 外 部 評 価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自分達の行なっている介護が外部からみて、どうなのか、見直す良い機会と考え評価された事を改善していく事を目標としている	0	
		8 外 部 評 価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議にて報告を行い意見を求めている。地域や家族他色々な方の意見を参考にスタッフで共有すると共にサービス向上につながる努力をしている	1	会議は1階リビングで行ない 会議参加者にも入居者の生活が1時間程度ではあるが かいままれるようにしている
		9 外 部 評 価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	会議の議事録は毎回送りわからない事は適時に質問しサービスの質の向上に努めている	0	
		10 外 部 評 価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修や勉強会にて制度を学び、入居者に成年後見制度を活用している方がいるため実例を学ぶ事により他者への助言も出来るようになっている	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束が虐待になるのではという意識から防止に努め地域包括支援センターの方を講師にお願いし勉強会をしました	1	虐待につながることは 言葉によるものが時折みられ スタッフ同士で注意し合っている

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	3	
理念に基づく運営	理念を 実践 する ため の 体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行い理解が得られるまで話し合っている	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見、不満、苦情は記録に残し 家族や運営推進会議にて報告している	0	
		14 外部 評価 8	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月発行の「すずらん便り」にて状況報告を行っている。金銭管理帳はコピーして詳細が分かるようにしている。面会、電話等で利用者の近況報告も行なっている	1	家族の面会時 入居者の現状報告をしていきたい
		15 外部 評価 9	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が何でも話せるような信頼関係を築けるように努め、意見、不満、苦情は記録を残しその都度適切な対応を行い会議で報告している	1	家族の面会時 意見などないか声かけしている
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のミーティングやいつでも意見があれば出してもらい業務連絡会で話し合えるようしている	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	緊急な場合でも施設長、管理者が すぐにかかけられる様なマニュアルを作成し対応出来るようにしている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者が安心安全に暮らせるように理念に基づき支援するよう日々努力している。離職、異動も十分に説明を行なっている	1	緊急時に備えてスタッフ全員が1階でも2階でも支援出来るようにしている
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価6項目・外部評価4項目	2	
	5	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	会社の規定に基づいた範囲内で採用は行なっている。職員も有休を利用し長期休暇も自己実現のため保証されている。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	常に理念を頭に入れ人権を尊重するために研修に参加したり勉強会を行なっている	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	業務に必要な研修に交代で参加できるようにしており、職員の育成に努めている	0	
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会へ参加して意見交換や他のグループホームの見学をしてサービスの質の向上につなげている	1	研修で同業者の知人を増やし 情報交換していきたい
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員と日常的に会話をして悩みなど、いつでも話せる雰囲気にして働きやすい職場作りを目指している。休憩時間確保と定時退社できるようにしている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各職員が持つ能力が発揮できるように役割分担をしている	1	正社員登録がある
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	0	
安心と信頼 に向けた関係作り と支援	1 相談から 利用に至る までの関係 づくりとそ の対応	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	0	
		25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人に会い状態の把握に努め会話をして安心感を持ってもらうようにしている	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の意見をじっくりと聞き話し合い信頼関係を築けるよう努力している	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人と家族の話を良く聴き状況を確認しながら柔軟な対応をおこなっている	0	
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホームの見学を勧めホームの雰囲気や他の入居者の様子、職員の対応等をみてもらい安心感や信頼感をもってもらうようにしている	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	0		
係り2 継続 これ な ま ま の 支 援 開 く	29 外部 評 価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	理念の「共に生きる」を常に心がけて本人を尊重し個々に合わせた日常生活ができるようにしている	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	情報交換を密に行い喜怒哀楽を共にし家族との協力関係を築くようにしている	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	「すずらんだより」に本人の絵や写真をのせて送ったり、本人の様子を電話で知らせたり行事に一緒に参加を促すなど、より良い関係の継続に努めている	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近辺からの入居者が多く、家族の面会や、知人からの手紙に絵手紙を送ったりして関係が途切れないようにしている	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	座席の位置など工夫して、日中リビングで入居者同士が心をふれあわせて過ごせるようにレクリエーションなどを行なっている	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院で終了された方は見舞いに行ったり、家族に連絡を入れて様子を聞いたりしている	0	
		その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目
1 の 一 把 人 握 ひ と り	1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)			自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
	35 外 部 評 価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している		本人との対話や行動の観察などで日常生活の把握をするように努めている。またそれを記録し検討している	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に、家族にいつも身につけていたものや、いつもしていたことなどをたずね、同じような環境作りに努めている	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人一人の「出来る事」や「やろうとしている事」の把握に努め見守りをしている	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族やかかりつけ医と話し合い、担当者会議でケアカンファレンスを行い介護計画に活かしている	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ひと月一度のケアカンファレンスの他にも介護記録や状況報告により話し合い、その時の状況にあった介護計画を作成している。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録には些細な行動や気づいた事でも記録し、スタッフ全員が情報を共有し、実践や介護計画の見直しに活かすようにしている	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況により、通院や買い物、車での外出をその時々々の柔軟な対応で支援している	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	1	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議の開催や、ふれあいサロンへの参加などで地域とのつながりができ、協力関係を密にしている	0	
	4		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	訪問マッサージや訪問理容サービスを利用している	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターと協力して成年後見制度を利用している	0	
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の希望は、本人の病気により専門医や入居前のかかりつけ医に行くなど自由に選んでもらっている。家族が同行できない時にはスタッフが同行している	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	老人医療に熱心なかかりつけ医と密に連絡をとり、適切な指導・治療を受けられるようにしている	1	職員に看護師がいない為 小さな小さな異常、変化もかかりつけ医に報告し指示を受けている
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	同じ敷地内施設の看護職員に適時に相談できるようにしている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時に情報を提供し頻繁に見舞っている。入院中の病院との情報交換も密にし、家族とも相談して体制を整えている	0	
		49 外部 評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族やかかりつけ医と相談し終末期の対応を決めている。出来るだけ本人・家族の希望を重視し支援するようにしている	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	スタッフの意見を統一して、入居者が安心して穏やかに終末期を過ごせるように、かかりつけ医と連携して支援に取り組んでいる	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	全ての情報提供を行い、必要に応じて電話などによる相談を受けるようにしている	0	
		その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	3	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)		自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	0	
		52 外部 評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	勉強会等でスタッフの自己覚知を認識し、個人の尊厳、プライバシーを守るとともに記録等の秘密保持に全員で努めている	0	
		53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居者個々の性格をつかみ本人の思いが出せるような対応の仕方ですべて自己決定出来る様な支援をしている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的なホームの生活リズムはあるが、体調や状態に合わせ、個性を重視、無理強いしないようにはしている	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	身だしなみは特に注意を払い個性を大切にしている。本人、家族の希望により理容美容は行っている。(訪問カット、家族が行きつけへ連れて行く)	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者がやりたい時にやれる事(盛り付け、配膳等)をしてもらい、職員も会話しながら楽しく食事出来るようにしている。手作りおやつも好評である。	1	全員で行く事は難しいが、交換で外食へ行きたい
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	入居時より喫煙者の方はいないが、飲酒についても服薬との兼ね合いがあるので、主治医の許可を得て、行事時に出したりしている	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	各入居者の排泄は特に気を配り記録にて把握して、声かけ、誘導もプライバシー、自尊心を傷つけないように気をつけて支援している	0	
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は週4回希望日に行なっている。体調、機嫌を見計らい、気持ちよく入浴できるよう支援している	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	なるべく日中活発に過ごしてもらい、心地よい疲れで安眠できるように配慮している	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		61 外部 評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	好きな事、出来る事を把握し、仕事や得意分野で生き甲斐がもてるように工夫している	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	普段は預かっているが、買い物(移動売店)時は本人にもたせ好きなものを買えるようにしている	0	
		63 外部 評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物、ドライブに出かけている。2階・1階にも自由に行ける様にスタッフが連携をとり、希望をかなえるように支援している	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節に合わせ計画を立て、外食をするようにしているが、全員というのは困難になりつつある。家族にも協力してもらい外出をお願いしている	0	
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じて電話の対応は行なっている。年賀状も工夫して家族に送るようにしている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	訪問時はいつでも笑顔で対応し、一緒にお茶を飲みながら楽しく談笑してもらえるよう雰囲気作りを心がけている	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	2	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修会に参加したり、身体拘束廃止委員を作り、身体拘束ゼロに職員一同取り組んでいる	1	認知がひどく危険行為のある入居者には 家族の承諾を得て時間をきめ 拘束をする事があり 記録に残す	
		68 外部評価 29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	入居者の行動パターンを把握し、見守りを徹底して、極力、鍵をかけないケアに取り組んでいる	1	2階は 出入り口が階段になっている箇所があるので安全のため鍵をかけていることがある	
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	入居者全員の行動がわかるよう、職員同士の声かけをしながら、安全確保に努めている	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人一人の入居者に合わせて、少しでもその人らしい生活ができる範囲で、危険を取り除いている	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	入居者の状態から予測出来る危険を検討し、事前に事故防止に努めている。他、どんなことでもヒヤリハットを作成し、意識の共有を図り、事故に繋がらないように努めている	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急救命の研修参加や事故発生対応マニュアルを作成し、職員があわてず対応出来るように勉強会を頻回に行なっている	0	
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に避難訓練を行ったり、職員が各自でイメージトレーニングをしたり、避難方法を常に勉強している。運営推進会議にて地域の方に協力をお願いしている	0	
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	予測出来るリスクについて家族と相談しながら対応し、安全に安心して暮らせるように努めている	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	些細な変化も記録し、かかりつけ医との連携を密に指示を受け、申し送りの徹底に努めている。家族への連絡もその都度行なっている	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理表を各人のケアチェック表に入れ、確認できるようにしている。服用までいくつかのチェックをへてミスのないように努めている	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	日常生活の活性を促し、給食委員会を作り、献立の工夫をしている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、必ず口腔ケアの声かけを行い、能力に応じて見守り、介助を行い、夕食後は義歯の預かりと週2回のポリドント施行の支援を行っている	0	
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士による栄養管理された献立と、個人の希望によりパン、ごはんを選んでもらっている。状態に応じて普通食、きざみ、ミキサー食等も出来、水分摂取はケアチェック表に記録している	0	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	手洗い・うがいの徹底、ポスター・イラストを数箇所に貼り、意識を高め、保健所の研修参加や勉強会を開き、予防に努めている。特にトイレ掃除をこまめに行なっている	0	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	冷蔵庫や水まわりの清潔保持に特に注意し、ふきんの除菌も毎日行なっている	0	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価 8項目・外部評価 2項目	0	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価 5項目・外部評価 2項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	季節の花を植えたり、玄関横にベンチを置き明るく家庭的な雰囲気作りを工夫している	0	
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	危険な物を置かず、季節感の感じられる物を一緒に作ったり、ソファの配置等居心地良く過ごせるような工夫をしている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	目の不自由な利用者があるため、居場所を危険のないように配慮しながら、一人ひとりが好きな場所を自由に選び過ごせるようにしている	0		
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	カーテンは防火カーテンの為同一のもの。入居者に合わせてベッド・家具の配置を考え、居心地よく過ごせるような工夫をしている	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気扇や空気入れ替えをこまめにして、換気に努めている。入居者に合わせて温度調節には配慮している。加湿器、洗濯物室内干しで乾燥防止に努めている	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	無駄な物、危険な物は置かず、手摺など設置して、入居者が自由に活動できるように工夫している	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個人の能力を見極めて、その日の体調に合わせて自立を促しながら、安全に生活できるように見守り支援している	0		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関前が広く、日光浴や園芸が楽しめるようになっている	0				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	1	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。